

のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）

<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367

〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com

野田健康福祉センター・中核地域生活支援センター 野田圏域連絡調整会議 開催

平成30年2月22日（木）、行政を含め関係機関の皆さんにお集まりいただき、連絡調整会議を開催しました。中核地域生活支援センター事業とグループホーム等支援事業の報告の後、高齢者支援課、介護保険課、児童家庭課、障がい者支援課、生活支援課、野田市保健センターの皆さんに其々の相談支援体制の現状について発言いただき、それを基に意見交換を行いました。

横のつながりを作る為にもこのような機会は貴重なものだと実感しました。

（記：五十嵐）

中核地域生活支援センター評価委員会

平成30年1月5日（金）に1年の活動を第三者の評価委員に評価していただくものです。1回に4つの中核地域生活支援センターが出席しそれぞれの活動の概要を説明した後、質疑応答が行われました。他の圏域の活動状況を聞くことで刺激にもなり、質疑応答の中で自分たちの活動を振り返る機会になります。関係機関との連携状況や所内での情報共有の在り方など、指摘された点を改善するように努力を重ねてまいります。

（記：五十嵐）

「我が事丸ごとの包括的な支援体制構築に係る研修会」

平成30年1月29日（月）千葉県庁 文書館に於いて県内各市町村から約110名の出席者のもと開催されました。

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係をこえて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人や資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を作っていく社会、『地域共生社会』の実現をめざしている。「地域課題の解決力の強化」として

- ① 小中学校区ごとに住民相互の支え合い機能を強化、公的支援と協働して地域課題の解決を試みる体制を整備。
- ② 主に市町村圏域において、複合課題に対応する包括的相談体制の構築。
- ③ 地域福祉計画を充実し、各分野の計画の上位計画として位置付ける。

これらを「2020年代初頭までに全面展開」とある。

先駆的に取り組んでいる「鴨川市福祉総合相談センター」等の報告を参考に野田市でも地域住民・行政・専門職が連携し、ワンストップの総合相談支援体制の構築に早急に取り組む必要を感じました。

（記：金城）

野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 各部会報告

【子ども部会】

12月13日(水)に開催。

議案

(1)新サービス「居宅訪問型児童発達支援」の基準について

重度の障害の状態その他これに準ずる『医療的ケア児』、『重い疾病のため感染症にかかるおそれがある状態がある場合』、既存の児童発達支援及び放課後デイサービスにおける支援を居宅に訪問して提供するもの。(詳細については、障がい者支援課にお問合せ下さい。部会で利用に関するフローチャート作成を議論して行く予定です。)

(2)福祉サービス等の相談窓口案内について

手帳交付などの際に「障がい福祉ガイドブック」を市民に配布すると共に、支援制度の説明をおこなっている。当部会において、支援制度に関する情報の集約や情報のニーズの確認を行い、「障がい福祉ガイドブック」を充実させることで、相談窓口案内の整理を図りたい。(支援課より)

【権利擁護部会】

12月21日(木)に開催。障害者差別解消法の周知方法について、パンフレットの有効活用など検討しました。また、合理的配慮の市報掲載について12月の「障がいのある方のパートナー補助犬を知ろう」の掲載で6回となり連載は終了となります。また、市の方から「成年後見制度」について説明をして頂き理解を深めました。

【就労支援部会】

12月21日(木)に開催。

議案

(1)障害者の雇用情勢、法定雇用率引き上げについて(千葉労働局)

＜民間企業＞ (法定雇用率2.0%)

雇用障害者数9,937.5人、対前年比660.5人7.1%増加

法定雇用率達成企業の割合は58.0%(対前年比4.1ポイント上昇)

＜公的機関＞ (法定雇用率2.3%、県・一部市町村教育委員会2.2%)

県機関では、8機関の全てが法定雇用率を達成。

市町村機関では、91機関中80機関が法定雇用率を達成。(野田市2.65%)

「共生社会」実現の理念の下、すべての事業主には、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があります。平成30年4月1日から法定雇用率が0.2%づつ引き上げになります。

【相談支援部会】

12月13日(水)に開催。障害福祉サービスの基準(就労定着支援・自立生活援助)について国から出た新たな情報を確認しましたが、まだわからない事も多く、今後の動向に注意して行きたいと思います。

野田圏域地域移行支援協議会

平成30年1月29日(月)今年度2回目の協議会が開催されました。来年度の協議会をどうしていくか改めて各事業所等で検討してほしいと依頼がありました。

また、現在の地域移行への取り組みの状況を病院の方から報告頂きました。ピア活動の普及についてや家さがしの難しさなど課題が多いと感じました。

(記:五十嵐)

□中核地域生活支援センター連絡協議会が 「(記:五十嵐)地方自治法施行70周年記念 総務大臣表彰」を受けました。

平成29年11月20日、地方自治法70周年記念式典が東京国際フォーラムで開催されました。

千葉県地域生活支援センター連絡協議会が「都道府県及び市町村の行政に積極的に参画し又はコミュニティづくりに熱心に取り組んでいる民間団体」として総務大臣表彰を受けました。



中核地域生活支援センター連絡協議会は千葉県内13圏域の中核地域生活支援センターと総合相談事業を行なっている柏市・船橋市の3センターを合わせた16センターで構成されています。県内の各種協議会等の委員として参加した内容を毎月の定例会で共有し意見交換等を行なっています。研修部会として隔月に研修会を開催する他に交換研修として他のセンターに研修をさせてもらうなど職員研修にも力を入れています。

協議会で得た情報等を地域の皆さんにお伝えし、地域の力になっていければと考えています。

(記:五十嵐)

ゆったりカフェのお知らせ

障がいの種別は問わず、ふらっと遊びに来れる場を企画しています♪

【最近の活動】

□11月12日(日) 絵手紙 野田市総合福祉会館 第2会議室 参加者9名

それぞれ思い思いの絵を描いて楽しみました。

□12月3日(日)クリスマス会 野田市中央公民館調理実習室 参加費300円 参加者16名

ロールケーキに飾りつけをしてかわいいケーキが沢山作られました。ギターの弾き語りをしていただいて、賑やかな会になりました。

□1月7日(日) 新年会 野田市中央公民館 調理実習室 参加費100円 参加者12名

おしるこ、甘酒をつくったのですが、一番人気は予備で用意したコーヒーでした。去年の景品の残りをかけてビンゴ大会を開催しました。今年の抱負を語りあい楽しい時間を過ごしました。

□2月4日(日) 外食 川間にあるカレー屋さん 参加者10名

ランチのセットの中から、ごはんにするか...ナンにするか...辛さはどうかな...ラッシーってなんだ...と選ぶことから楽しんで、食事も一口分け合ったりして和気あいあいとした時間を過ごすことができました。



【今後の予定】(開始は13:00~)

3月4日(日) 反省会 野田市中央公民館 調理実習室 参加費無料

(問い合わせはのだネットまで)

お知らせ

□ 耳・聞こえの講演会

日 時： 平成30年3月18日(日)12:30～16:30

会 場： 野田市文化会館 大ホール

内 容：

◆12:30～オリエンテーション

- ・「みみずくの会」の歩み、活動状況、講演会の取り組み
- ・情報保障についての説明

◆13:00～補聴器の上手な選び方と使い方

講師 宮崎 寛夫氏（千葉県中央障害者相談センター 言語聴覚士）

◆14:10～休憩 舞台上でアトラクション

尺八・箏・ピアノのコラボ演奏

◆14:40～難聴のあれこれ(難聴医療の最前線)

講師 河野 淳氏（東京医科大学 聴覚・人工内耳センター 教授）

富澤 文子氏（東京医科大学 聴覚・人工内耳センター 言語聴覚士）

<お問い合わせ先> みみずくの会

TEL:04-7129-7303/FAX04-7127-8573

E-mail:seijiyosioka@jcom.home.ne.jp(担当:吉岡)

□ ころのふれあいフェスティバル

日 時： 平成30年5月16日(水)10:30～14:30

会 場： 千葉市中央公園・千葉市文化センター（千葉市中央区中央2-5-1）

参加費： 無料

内 容： 千葉市中央公園

作品展示・バザー・青空パフォーマンス・心のよろず相談・メンタルヘルスチェック
千葉市文化センター

演芸大会・心のよろず相談

※天災など不測の事態により、急遽中止する場合は、NPO法人千葉県精神保健福祉協議会のホームページ(<http://chiseikyo.mdn.ne.jp/>)にその旨掲載しますので、ご確認ください。

<問い合わせ先> 心のふれあいフェスティバル実行委員会事務局

(磯ヶ谷ポルトチャンス内 担当:小高・飛田野)

TEL:0436-98-2050

編集後記

あっという間に年度末がきてあたふたしています。来年度何をしようか…考えているうちに新年度に突入してしまいそうです。もう少し早い時期から準備をするように心がけていきたいです。
(記:五十嵐)